

サイエンスフォーラム2006～科学の鉄人～は、ステージにおける20分程度の実験ショーまたはトークで、いかに子供を引き付け、科学の原理を理解させるかの技量を競います。(今年度はブース部門は行いません)

出演者は、事前に応募された教員や学芸員、そして科学教育に携わるボランティアの方々です。科学教育に興味を持ち、科学実験ショーやトークなど教育実践について議論していただける方々を募集しております。子どもが科学をよりよく理解するための新しい教育手法について一緒に議論しましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。

■概要:

日時:2006年2月11日(土)13:00～12日(日)午後

会場:科学技術館 <http://www.jsf.or.jp/>

〒102-0091東京都千代田区北の丸公園2-1

募集人数:40人(2日間通じて参加できる方のみ 先着順)

参加費:1000円(高校生以下は無料)

懇親会費:3000円

○15～20分の実験ショーまたはトークでいかに子供を引き付け、原理を理解させるかの技量を競います。(ステージ形式)

○実演者は小・中・高・大学の教員や博物館・科学館の学芸員、科学教育ボランティアに携わる方などです。

○実演対象はおもに小学生とします。

○子供審査委員(別途募集:40人)および審査委員会の審査により優秀者を選び、表彰(認定賞+副賞を授与)します。

■プログラム(予定):

2/11(土:建国記念日)

12:20 開会、開会式

12:30 一組目実演開始

12:30～13:10 Aさん

13:10～13:50 Bさん

13:50～14:30 Cさん

14:30 一組目審査結果発表、休憩

15:00 二組目実演開始

15:00～15:40 Dさん

15:40～16:20 Eさん

16:20～17:00 Fさん

17:00 二組目審査結果発表、閉会式

17:30 閉会

2/12(日)午後 決勝戦(初日一組目優勝者、初日二組目優勝者、境さん=前鉄人、チャバイさん)

■実験ショータイトル(予定):

「これって、びっくり空気のカ」

長嶋 淳(伊勢原市立山王中学校)

「あれこれ音(おと)っと」

月僧 秀弥(三国中学校)

「納得!地震波の周期と建物の揺れ」

福岡 孝(島根県立三瓶自然館)

「「メリーさんのひつじ」で音の勉強」

原田 正治(広島文教女子大学初等教育学科)

「明かりへの挑戦」

市原 義憲(大阪府箕面市立東小学校)

「水が教える大気圧」

益田 孝彦(三浦市教育委員会 学校教育課)

「石っておもしろい」

境 智洋(北海道立理科教育センター)

「未定」

Ilan Sandor Chabay (The New Curiosity Shop, Inc.(USA))

■参加申込:

名前、所属、連絡先(勤務先or自宅)、住所、電話、E-mail、懇親会(参加or不参加)を記載の上、office@sci-fest.orgまでお送り下さい。(E-mailでのみ受付)

募集開始:2005年12月1日(木) 募集締め切り:2006年1月13日(金)

■実行委員会:

実行委員長 縣 秀彦(国立天文台普及室長)

副委員長 左巻健男(新理科教育フォーラム代表、同志社女子大学教授)

篠原秀雄(天文教育普及研究会、埼玉県立蕨高校)

ほか多数